

第2弾

合格者一人当たり、12,074,312 円 もの公的支援金を投入！！

訂
正
版

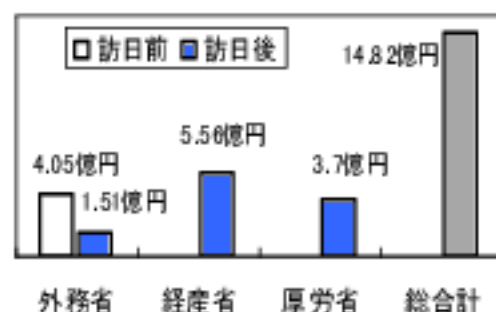
【外国人受け入れの公的支援、並びに、私的支援の解析】

- 今回は、EPA 事業に関わる「国家予算と候補者一人に関わる経費」、そして、膨大な税金投入をした結果、「合格者に関わった総経費」についての解析をした。その結果、一名の合格者を生み出すための公的支援額は、一人当たり 12,074,312 円にも及んでいることが判明した。(H25 年度実績)
- 実態は、公的支援金とは別に、受け入れ機関が受験者のために自己負担して投入している金がある。例えば、全国的にみて日本人と同じ賃金の支給があり、さらには、特別処遇として全額家賃負担か、半額負担等が挙げられる。その結果、日本人職員より好待遇の処遇となり、日本人職員からこの特別処遇に対して、不平不満が噴出している。
なお、特別処遇の労働条件として、勤務時間内の受験対策時間が、全国的に月当たり 29.2 時間にも及んでいる。これは、日本人職員の労働時間と比べて好待遇を与えていることになる。
このことは、将来の日本人の労働力確保のためにも、逆差別が生じているので、悪影響となることを認識すべきだ。
- さらに、幸いにも合格者を出しても、継続して労働力としての雇用関係を果たさず、様々な理由をつけて離職する傾向が、特に地方の受け入れ機関に多く見られる。
このような状態を避けるためには、【入職時における雇用関係の明確化と認識を強く求めること】が最も重要な点だ。膨大な額(表 5 参照)の私的支援金を投入しても、労働力の確保に繋がらなければ、受け入れ施設のメリットは何も無い。

I、【入職前の支援金は一人当たり 3,622,149 円にものぼる】

- 表 1 は「EPA に基づく受け入れ関係事業費」を各担当省庁別に表したものだ。特に、外務省の事業費は母国での日本語教育費に充てられ、経産省のは、来日直後の集中日本語研修費に充てられている。
- 即ち、受け入れ機関に入職するまでの日本語研修費用は、両省で合計、11 億 1 千 200 万円にも達している。
この事業費は、介護・看護受け入れ候補者の分であり、平成 25 年の入国者数 307 名で割ると、一人当たり 362 万 2 千 149 円にもなっている。
- これだけ高額な教育費を費やしながらも、入職時の候補者の日本語力は余りにも低く、十分な意思疎通ができない状態を考えると、膨大な額を投資した結果とは、とても信じがたいと言わざるを得ない。

表1 EPAに基づく受け入れ関係事業費



大反響

教育効果の高い、スカイプ授業！！

※ 本「スカイプ授業」は助成金の範囲内で参加できます。
詳細資料をご希望の方は、FAX でお送りしますのでご連絡下さい。

1. 会話をしながら、Eラーニングではできない「疑問点をその場で理解できる。」
2. 受験者の「聴解力と会話力」が重ねるごとに身につく。
3. 教師と共通のテキストを使い、「読解力と構文力」が身につく。
4. 瞬時反応能力を養え、「難解な熟語漢字対応能力」が身につく。
5. 学習計画に基づいて、確実に「国家試験受験能力」が身につく。
6. 専門書を使うために、学習と同時に「専門知識」を身につけ合格能力が高まる。

スカイプ授業の
強み

II、【入職後の支援金は、一人当たり約 120 万円】

- 入職後の教育支援は厚労省が行い、各地方自治体から教育支援金を出し、事業団に業務委託をして教育サポートをさせている。
- 厚労省予算 3 億 7 千 72 万 6 千円を 25 年度入国者数 307 名で割ると、表 2 の通り、一人当たり約 120 万円となっている。

表 2 厚労省予算	
H25 年厚労省予算	3 70,726,000 円
入国者数	307 名
一人当たり	1,207,576 円

III、【受験させるまでの支援金は、一人当たり約 550 万円！】

- 介護士候補者の場合は、日本語支援助成金として毎年、23 万 5 千円が予算化されており、受験日までの 3 年間を考えると、表 3 の通り、合計 70 万 5 千円が国家試験の合格を問わず助成されている。
- 表 3 では、母国から国家試験受験までの支援金、並びに助成金の合計を表したもので、これらを合算すると一人当たり、553 万 4 千 725 円もの税金が投入されている。しかしながら、国家試験の合格者は、215 名中 78 名に過ぎない。この原因は、【教育の質】に問題がある。

表 3 各省予算 (一人当たりの金額)	
A、外務・経産省	3,622,149 円
B、厚労省	1,207,576 円
C、厚労省 日本語支援助成金	235,000 円 × 3 年間 = 705,000 円
A+B+C 合計	5,534,725 円
※ A の外務・経産省の金額は、母国での日本語教育費と来日直後の集中教育費用。 ※ 入職後、B+C=1,912,576 円 受け入れ機関支援金 (8 万円 × 3 年間) 24 万円は除く。	

IV、【合格者を生み出すための公的支援金は、一人当たり 12,074,312 円もある】

- 25 年度の各省庁予算実績と、合格者にかかった支援金は、表 4 の通りとなる。表 4 の A は、入職前の研修費の総額を表している。そして、B の④は厚労省予算を、全入国者 307 名で均等に割った数値だ。この金額は、「受け入れ機関支援金 (8 万円)」として、受け入れ施設に支援されているものを含んでいる。
- また、⑦の助成金 23 万 5 千円は、日本語研修並びに受験対策費のためのもので、受験日まで 3 年間で要するため、一人当たり 70 万 5 千円と計算している。
- これらの合計は B の数値となり、C は入国して受験日までの 3 年間の合計額を入国者数に掛けたものだ。25 年度の合格者は 78 名だったので、A と C の合計額を合格者数で割り出した数値が、一人当たり、12,074,312 円となった。

表 4 合格者を生み出す一人当たりの総経費	
①入職前一人当たりの支援金	3,622,149 円
②25 年介護士候補者入国者	195 名
A、①×② 合計	706,319,055 円
③25 年介護・看護入国者	307 名
④厚労省予算を入国者数で割る	1,207,576 円
⑤受験日までの支援金④×3 年間	3,622,728 円
⑥入職後受験日までの支援金	1,207,576 円
⑦助成金 23.5 万円 × 3 年間	705,000 円
B、⑥+⑦ 合計	1,912,576 円
C、⑥×介護入国者 195 人	= 235,477,320 円
D、A+C=941,796,375 円	(一人当たり)
合格者を生み出す総経費 D÷合格者 78 名	12,074,312 円

V、【受け入れ施設が負担する私的支援金の実態】

- 表 5 で表した費用以外に、施設が負担しているものとして、生活必需品や自転車等がある。

表 5 私的支援金 (概算)	
賃金	約 17 万円 × 36 回 (3 年間) = 612 万円 ※ボーナス除く
家賃	約 4 万円 × 36 回 (3 年間) = 144 万円
賃金+家賃=756 万円	
※ 受け入れ人数により、負担額は変動	

- 賃金は、あくまで全国平均額を表したもので、特別手当やボーナスは除いた。実態は受験するまでに、612 万円以上が支払われており、なお、家賃には契約時に支払うべき権利金や敷金等は含んでいない。私的支援はあくまでも日本人職員と同様にし、特別扱いは避けるべきで、勤務時間内の学習もさせるべきではない。
- 「公的支援金と私的支援金を合計する」と、施設により異なるが、一人当たり 19,634,312 円にもなる。このことを考えると、合格させて実践的な労働力として確保できなければ、単なる国際親善事業に終わってしまう。

施設の声

何のための受け入れかが、疑問！！

- 月報 37 号の受け入れについての解析を読んで、今後のことを考えさせられた。二名のインドネシア人候補者を受け入れているが、本当にうちの施設で合格後も働く気があるのかという意味を見ながら、今後の受け入れは考えていこうと思っている。
- ここ最近、「結婚したい」という言葉も出ているし、都会に移りたいという希望も持っているようだ。丁度、彼女達の年齢がインドネシアでは婚期にあたるので、特に結婚願望が強い。
- 入職当初は、「ご飯が炊けない・電気がつかない」などの些細なことでも職員が家まで出向き、対応していたこともあった。受け入れに対しては手間がかかり、職員の負担も大きいのが実態だ。労働力不足のために受け入れたにも関わらず、本人の意思は労働力になる考えが薄くて、何のための受け入れかが分からなくなってきている。
(長野県・S施設)

労働力確保にならないEPA事業！！

- うちの施設はEPAで継続的に受け入れしているが、候補者に対しては日本人と違い、施設が家賃を全額負担している。月報を読み出して、これは、おかしいことなのではないかと考えるようになり、見直しをしている。
- 継続的に受け入れしているので、EPAを利用した事の無い施設から、色々とメリットやデメリットについて相談をされることもある。現在の仕組み上、この政策をお勧めすることはできないと正直に話している。それは、受け入れ側のリスクが高いことが一番の理由だ。例えば、合格したと思ったら他の施設へすぐ移動できたり、自由に母国に帰れるという点だ。このようなことがあるため、労働力確保にならないからだ。
- 事業団は、候補者を斡旋する立場だから何もできないかもしれないが、厚労省は、候補者が合格したら何年か同じ施設で働くことを義務づけて、国としての態度を明確にしてほしい。このような契約があるのと無いのでは施設の受け入れに対する安心感が違ってくる。そして、国際社会から見ると、余りにもお人好しの受け入れ体制ではないかと思う。
(福島県・S施設)

合格したから、都会に出たい！！

- 月報 37 号の「受け入れについての解析」を読んだ。全くその通りで、合格して一年満たない介護士から「都会に移って仕事をしたい」という申し出があった。延長でようやく合格でき、頑張っていた人だけに、施設としてもショックが大きい。長く働いてほしいということもあり、住宅費用を全額施設が負担し、候補者には光熱費だけを払えば良い対応をしてきたので、投資額も相当だ。
- 新しく入ってきた日本人職員からは、「不公平だ」と、不平不満も出てきているのが現実だ。この声を受けて、候補者を特別扱いしてはいけないということを学んだため、今後の対応を変えないといけな。
- 国に対しては、EPAの政策自体を改めてほしいと強く言いたい。合格しても一年未満で他の施設に移れたら、何のために受け入れたか分からないし、今後の受け入れは慎重にならざるを得ない。
(宮城県・S施設)

第3弾どう教える？ 「ではありません」と「じゃあないです」の違い (月報37号の答え)

<教え方その1>

- 日本語は、「上下関係と性別、年齢」を明確に表す言葉であることに、注目しなければならない。そのため、「じゃあない」は目上の人に対して非礼な表現法であるために、外国人には基礎教育段階では教えないことが望ましい。
- なぜならば、その言葉違いによっては、日本人が不快に感じ、人間関係が壊れる可能性があるため。

<教え方その2>

- 「じゃあない」を基礎教育段階から教えると、い形容詞の打ち消し表現、即ち、「面白いじゃない」などのように、接語を正しく使い分けができなくなる。
- または、「面白いじゃない？」のような意味が違ってしまう用法を覚えてしまうため、い形容詞の打ち消し「□□くはありません」を品詞の種類によって、「否定並びに、打消しの表現法」を学習段階別に習得させる必要がある。

<教え方その3>

- 「ありません」は有無の否定形と「ではありません」は全面否定の違いがあることを認識して、指導するべきだ。と同時に、「ではないです」は打ち消しの否定であり、応答の範囲で用いられる言葉なので会話において多く用いられる。
- そのため、報告書等の文書では「ない形」を使わずに、「否定形」を使う指導が是非とも必要となる。

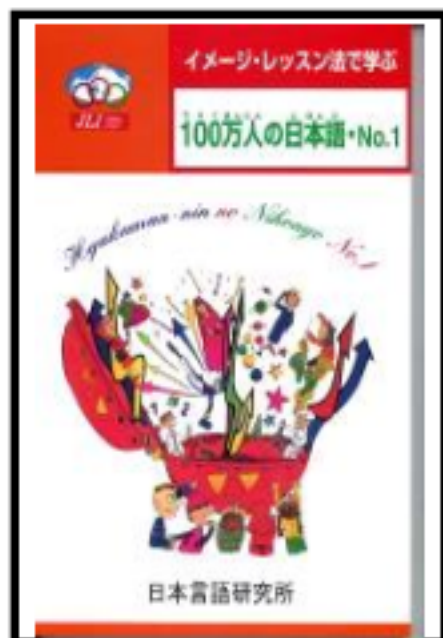
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

主教材

基礎言語能力レベル

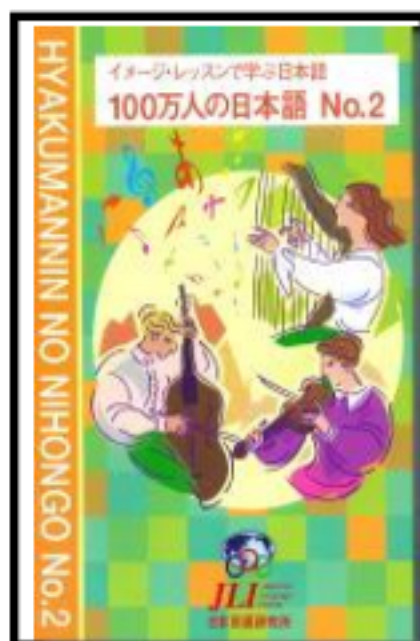
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-441-3361
FAX：086-441-3362
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての
言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・
存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成
となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文
を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解
しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得
できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現
力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語
のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適応できる人間関係を理解
して、目上の人に対する礼節を保つ表
現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書け
ると同時に、漢字熟語を使った要約文
を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を
引いて調べることができます。(3,300 円)

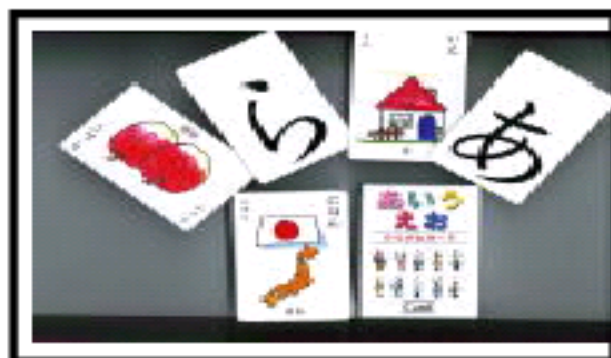
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

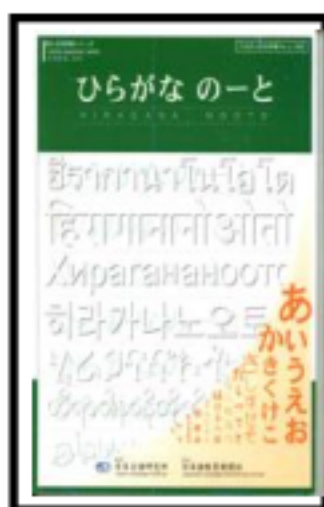
手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

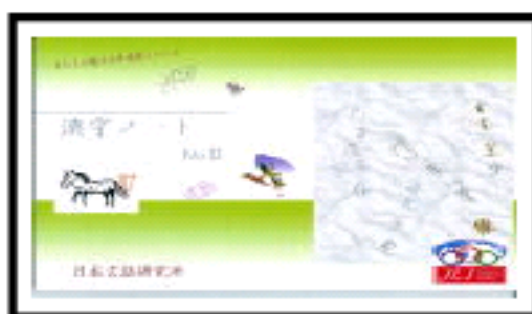
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回	75 %	受験者の現状の日本語能力を観る。		